

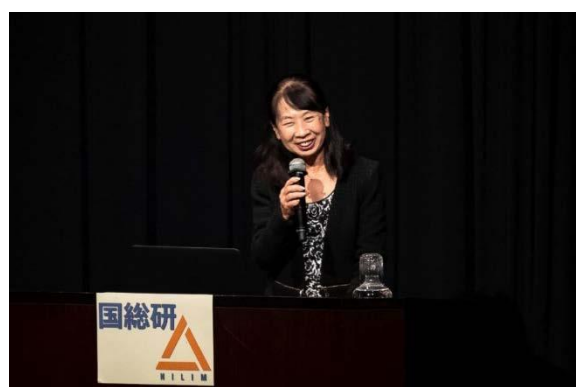
◇開会の挨拶



所長 伊藤 正秀

◇講演者及び演題

特別講演



シーニックバイウェイ北海道・日本風景街道による地域活性化

オフィス・ウスイ代表/NPO 法人日本風景街道コミュニティ理事 臼井 純子

<プロフィール>

- ・官民協働による地域情報化、地域活性化（観光振興、産業振興）などのプロジェクトに多数携わり、「地域を元気にする」のが天職と活動。
- ・国土交通省社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会社会資本メンテナンス戦略小委員会委員。
- ・2009年から、国が認定する地域おこしのスペシャリスト、地域活性化伝道師に就任。また、国の審議会・委員会の委員、審査員として活動。
- ・2010年から、高知県で地域の人材育成を目指す「目指せ！弥太郎 商人塾」塾長として活動。土佐MBAアドバイザー。
- ・2018年から、くれワンダーランド構想推進会議の構成員に就任。

パネルディスカッション



社会資本ストックの維持・更新・活用と地域の発展

(コーディネーター) 社会資本マネジメント研究センター長 清水 晃
(パネリスト) 下水道研究部長 岡本誠一郎
道路交通研究部長 福島 真司
都市研究部長 中西 浩
港湾研究部長 高野 誠紀

報告「令和元年台風第19号等について」



企画部長 野崎 智文



河川研究部長 佐々木 隆



土砂災害研究部長 西井 洋史

令和元年台風第19号等に関する被害・現地調査の概要について速報し、防災・減災における国総研の役割等を紹介した。

一般講演



建築物の設計用入力地震動の考え方

建築研究部 建築新技術統括研究官 小山 信

設計用入力地震動・地震荷重は、地震被害とそれより得た教訓を取り込んだ改正（強化）を繰り返して現在に至っている。講演では建築物の設計用入力地震動と、今後求められる地震後の機能継続を考える際の地震力や設計について紹介した。



住宅・建築物における被災後の機能継続（BCP）・生活継続（LCP）

住宅研究部長 山海 敏弘

最近、ブラックアウトや風水害に伴う大規模・長期間に渡る停電・断水等、従前の想定と異なる災害が多発しており、様々な問題に対応する必要があると考えられる。本講演では、住宅・建築物のライフライン被害への対応における基本的な考え方について、BCP、LCPの両面から概説した。



沿岸海洋・防災に関する研究の動向

沿岸海洋・防災研究部長 高田 直和

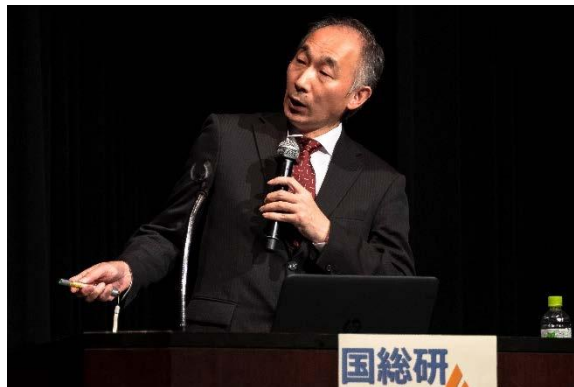
沿岸地域で防災の対策をしていく重要性はますます高くなっており、強靱な国土、安心・安全を支える研究テーマの中で、港湾を核とする沿岸地域の安全性や防災力を向上するための基礎的な研究として海洋・防災研究部が取り組んでいる課題やその周辺状況の動向について解説した。



空港技術に関する研究の動向～基準体系の見直しと今後の展望～

空港研究部長 水上 純一

空港研究部で行っている空港土木施設の設計および維持・管理に関連する研究について紹介した。特に本年 4 月の空港土木施設の技術基準体系の見直しの概要を解説するとともに今後の研究の方向性について紹介した。



道路構造物における新技術活用に向けて～ほめて起こそうイノベーション～

道路構造物研究部長 木村 嘉富

平成 26 年度から始められたトンネルや橋梁等の定期点検が 2 巡目に入った。点検の効率化や診断高度化、合理的な補修・補強・更新の実施のためには、新技術の活用が不可欠である。道路構造物における新技術活用の方向性と取り組みについて紹介した。

◇閉会の挨拶



副所長 諸星 一信